



移住者名	佐治 渉
都道府県	東京都
移住先	神奈川県川崎市 ⇒ 八丈島
移住年	2014年
職業	会社員 ⇒ 公務員
家族構成	本人・妻・子2人
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

人生を見直すにあたって、大きな変化が必要だったためです。

仕事が多忙を極め、毎日午前様での帰りが続いていました。休日とはとにかく休みたい、長女が生まれて間もなかったのですが相手をしてあげる余裕もあまりなく、小さい長女の劇的な成長に気づかないことも多々ありました。このままで良いのか？10年、20年と同じ働き方で良いのか？迷っている状況が続いていました。

そうした折に、八丈島出身の妻より、移住を提案され、全く考えてもみなかったのですが真剣に考えてみた結果、決断をしました。

移住前から、正月やGWなどには島に行く機会が度々あったため、住環境やその他もろもろに関してはおおよそのイメージが掴めており、後は仕事だけというところで、幸いにも現在の職場の採用に引っかかることができました。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

特にありません。離島としては非常に整った住環境があると思います。移住の際には八丈島にあって都会にないもの、またその逆をリスト化して、どうしても無いと諦められないものを洗い出しましたが、特に困るものはないという結論に達しました。コンビニやショッピングモール、大きな本屋などなど、無いものをあげればキリがないですが、八丈島には銀行もスーパーも郵便局もあり、飲食店も豊富です。通常の生活においてはモノがなくて困ることはないと思っています。



ブロードバンドも整備されていて、通販も当たり前に使えます（当日配達はずすがに無理ですが）。船便、航空便の欠航が続くと品薄となることもあります。できる対策はいくらでもあるので、そこは割り切って生活するべきだと思います。ただし、現在の不安ではありませんが、医療に関しては総合病院（内科・外科・小児科・産婦人科）があるとはいえ、内地並みを求めることは無理があります（それでも離島としては非常に恵まれています）。

Q. 移住して良かったことは？

- ・内地では非常に厳しい条件で断念していた保育園の入所がスムーズにできたこと。
- ・通勤時間が内地では往復2.5時間程度かかっていたのが10分程度になり時間的余裕ができたこと。
- ・休日出勤は多いが、それでも家族でいられる時間は増えたこと。
- ・妻の家系で親族・親戚関係が豊富にあり、その人たちを通じて多くの方に好意的に受け入れていただいたこと。
- ・規則正しい生活が送れるようになったこと。
- ・豊富な自然環境の中、「人間らしい」生活が送れるようになったこと。
- ・収入は大きく下がったが、出るお金も減ったのでトータルでは生活レベルは落ちなかったこと。
- ・島に軸足を置いた結果、都会の良さも再認識できたこと。

Q. 移住を考えている方へメッセージ

家も仕事も、内地と比べると選択肢は狭くなりますが、いずれも無いわけではないので、要は自身がどういった人生を送りたいかに尽きると思います。内地にあって、島にないものは沢山ありますが、逆もまたしかり。私の場合はワーク・ライフバランスの劇的な改善が達成できましたし、軸足は島、時々東京という暮らしの満足度は非常に高いです。

また、これからの時代は、島にいながら内地の仕事をするといった暮らし方もどんどんできるようになってくると思いますので、職種によっては退職をせずとも移住は検討できるのではないかと考えます。

人間関係は島内みんなが近所さんですので、濃いめの環境が待っています。これは人によって好みがありますが、古き良き地域というものがまだ島には残っていると感じており、上手にお付き合いされると良いと思います。